

第 37 回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー開催

東海三県のみどりの少年団が一堂に集い、自然の中で緑の大切さを学び、交流を深めることを目的とした「みどりの少年団サマージャンボリー」（国土緑化推進機構、三菱UFJ環境財団及び愛知県・三重県・岐阜県の各緑化推進委員会主催）を、8月1日(水)から8月3日(金)まで2泊3日の日程で、「愛知県民の森」において開催しました。



講話「緑のお話」

森林環境学習では日本植木協会の講師から「緑のお話」と題した講話を聞き、自然体験活動では実際に除伐作業の体験や森林整備地の見学を行い、森林の役割や緑の大切さについて学びました。



除伐体験

そのほか班旗の作成、野外炊飯、水遊び、キャンプファイヤー、野外ゲームなどの盛りだくさんの活動をこなしました。



森林整備地の見学



野外炊飯(カレーライス作り)

参加者は、愛知・三重・岐阜の11少年団87名（引率者含む）で、岐阜県からは、多良峡もみじ少年団、海津市みどりの少年団、牧谷小みどりの少年団の3少年団34名（引率者含む）が参加し、共同生活を通じて活発に愛知県、三重県の少年団と交流を深め、楽しい思い出をいっぱい持って帰宅しました。



班旗の作成



水遊び